

D：睦ましく <学級活動 特別でない特別支援教育>

1 はじめに

コロナ対策の中で大きな問題となったことは、コロナにかかってしまった児童に対する人権問題。かかってしまった人を排除しないということを徹底しました。このことは特別支援教育にも通じます。例えば、マスクを「していない」「している」というお互いの立場を尊重すること。一人一人を大切にしていくことにつながっています。

私たち石原小学校での取り組みは、インクルーシブ教育システムの考えを浸透させていくことでもあり、根幹にあります。そして、障害の有無に関係なく全ての子供たちにとって分かりやすい授業を目指します。だれもが大切な存在であり、みんな仲よくという学級づくりからのスタートです。

2 ポイント

- 「学校がすき!」「友達がすき!」「先生がすき!」と思う仲よく楽しい学校づくりをすること。
- 一人一人が安心して学ぶことができる居心地のよい教室づくりをすること。
- 子供たちが自分たちの力で問題を解決していくこと。

3 方策

①学級活動の充実

<事前の活動>

- 議題を見つけ選定・・・話し合う切実感のある議題を決定する
- 提案理由・・・「何のために活動するのか」全員で共有
- 決まっていることの確認
- 計画委員への指導・・・どこに時間をかけ重点的に話し合うのかを打ち合わせる

【学級活動コーナー】



<話し合い活動>

- 意見を「出し合う」「比べ合う」「まとめる」⇒同じイメージをもって!
- 板書での可視化・操作化・構造化
- みんなが納得できるよりよい合意形成(折り合いをつける⇒自分もよくみんなもいい!)
- 話し方・聞き方・・・意見のつながりを意識して。言葉のバトン。心のバトン。
<聞くことが大切!意見のつながりは人間関係のつながり!>

支持的風土の学級



居心地のよい学級

<事後の活動>

- 全員で協力して準備・実践
- 一連の活動の振り返り・・・何のための活動だったか、自分や友達のがんばりや成長、新たな課題等。

②人間関係づくりの充実

<ゲーム&アクティビティ>・・・意図的に計画的に行う

- 年度初め(黄金の3日間)、学期はじめ、毎週月曜日朝の学級の時間、課題がみえたとき等に実施。
- 教師がねらいをもって行う⇒ねらいをキーワード化する
- 児童の振り返りは、キーワードを意識させる
- 学級経営の基盤として 全クラスで実施する。

楽しみながら人間
関係づくりをする

【キーワード】



③特別でない特別支援教育

<ユニバーサルデザイン>

障害の有無に関係なく全ての人にとってわかりやすいデザインのこと

- 視覚支援⇒見やすい板書 電子黒板の活用 ○指示や伝え方の工夫
- 児童の実態を的確に把握した全ての子供にとって分かりやすい授業の実践

<インクルーシブ教育システム>

障害のあるものと障害のないものがともに学ぶ仕組み

- 年度当初 ABプラン作成研修 ○チームズを活用しての特別支援教育の情報発信
- 上記2つにより全ての教職員の特別支援教育に関する知識をブラッシュアップできる
- 児童の実態に応じた参加の形態を選択できる交流授業
- できないことを認め、「だれもが教室にいてよい環境づくり」(居心地の良い学級)
- 通常学級での学級経営 「排除しない、認める、仲間を作る」

<成果>

11月の学校生活アンケートでは、「学校が楽しい」、「クラスの友達と協力して何かを行いことができる」と児童のほとんどが解答。

D：睦ましく 「本時の授業」

今日の3年1組 学級活動(2)は? 三澤 典子先生が授業をします。

「チームで団結！」

場所 体育館で行います。

題材「スマイルパワーを集めよう!～パイプラインでゴールを目指そう～」

チームで一丸となってパイプをつなぎ合わせボールを流し、ゴールを目指して遊ぶ、活動が中心の授業。



○チームは男女子雲合7名×4チーム(1チームのみ8名)

○パイプラインの流れ:おためしゲーム⇒作戦タイム(話し合い・練習)⇒本番

<授業のポイント>

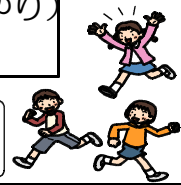
チームの団結力を高める



- ・個人カードにスマイルパワーと目標を記入
- ・チーム内での協力、温かい声かけ(思いやり)
- ・作戦タイム(話し合い・練習)



子供たちにほめほめシャワーをあげせ、各チームの団結力を促し、パイプラインで心をつなげます!



今日の5年3組 学級活動(1)は? 石井 里美先生が授業をします。

「絆を深める！」

場所 6年2組教室で行います。

議題「ロクニーきずな会をしよう」～輝くロクニー発表会～

今までの行事や活動を振り返り、お互いのがんばりを認め合い、より6年2組(ロクニー)の絆が深まり、今後の活動への意欲が高まるような活動を考える話合いの授業。

○柱1:どのような発表の仕方にするか ○柱2:会を盛り上げる工夫 ○柱3:役割分担

<授業のポイント>



絆が深まる
話合い

- ・一人一人がこれまで頑張ったことをみんなで認め合う
- ・お互いの意見を伝え合い、折り合いをつける
- ・友達のよいところを探し、より深く知る

これまでのがんばりをみんなで認め合って、折り合いをつけられるように、見守り、助言します!



今日のつくし1組 自立活動は? 小林 啓介先生が授業をします。

「楽しく なかよく！」

場所 つくし1組教室で行います。

主題「様々な身体の動きを身に付けよう」

児童が、YouTubeの動画、スクラッチ、iPndのアプリを使い、楽しく様々な身体の動かし方を学ぶ授業。

○「ARゲームの効果的な活用」⇒コンピューターゲームはやはり子供にとって楽しいもの。だったら授業に使わない手はない!!

<授業のポイント>



一見ゲームのように見えるものも、使い方、考え方次第で立派な教材になります。子供たいは、「楽しく なかよく」身体を動かします!



